

## 会 議 録

会 議 名 称	第4回 自立支援センター設置に関する検討委員会
日 時	平成16年7月29日(木)午後1時30分～3時00分
会 場	区役所中棟第1委員会室
出 席 者	<p>委 員  山田知子委員、柴田純一委員、高橋新一郎委員、武田富乃委員、  夏目政之委員、鈴木定雄委員、内田寿子委員、都築准子委員、  小林幸男委員、小林英雄委員、菊池律委員</p> <p>事務局  保健福祉部管理課長、計画推進担当副参事、西福祉事務所長、  企画課企画調整担当係長、管理課路上生活者対策担当係長、  東福祉事務所保護第一係長</p> <p>関係職員  東福祉事務所長、南福祉事務所長、福祉局計画課自立支援担当係長、</p>
配布資料	「自立支援センター設置に関する検討委員会」報告書素案(案)
議 事 等 ( 要 旨 )	
1. 「自立支援センター設置に関する検討委員会」報告書素案(案)について	
事務局	「自立支援センター設置に関する検討委員会」報告書素案(案)について 説明
委 員	<p>報告書は、話し合われた内容が盛り込まれているのでこれでいいと思う。  あえて言えば、住民説明会の進め方が重要。自立支援センターのことを  分かりやすく、できるだけ平易なイメージで説明する必要がある。また、  社会復帰という言葉も更生するというイメージがあるので注意したほうが  いい。</p> <p>これは難しいことかもしれないが、元利用者で自分の昔のことを話せる  しっかりした人がいたら、説明会で話してもらえるといいと思う。</p>
委 員	自立支援センターは、固定的なイメージで捉えられやすいので、説明の 仕方や言葉に配慮が必要。
委 員	広報はどのように掲載するのか。

事務局	8月11日号に掲載するが、全文は無理なので提言に関する部分を要約して載せる。その他、ホームページには全文を掲載し、図書館や区民事務所にも閲覧用の報告書を置いて意見をいただく。
委員	個人的要因と社会的な要因が絡み合って発生するという点を説明したほうがいい。また、路上生活者自身の自助努力に基づくという主旨を盛り込み、本人の努力を引き出すための支援という視点がほしい。
委員	交通の利便性については、あえて言及しなくてもよいのではないか。区内であればそんなに不便なことはない。
委員	用地については、特に制約を設ける必要はないわけだから、あまり条件を細かく提示して限定しないほうがいい。
委員	広報掲載後はどのような段取りになるのか。
事務局	自治基本条例に基づくパブリックコメントではないが、それに準じて区民から意見をいただき、寄せられた意見を参考にして最終的な報告書にさせていただく。 広報にあたっては、提言の位置付けを明確にし、提言に基づいて区が整備方針を定めることを明記する。
委員	今日いくつか修正意見もでているので、副委員長と協議して素案を固めたいと思っている。
委員	検討委員会をやってみて分かったことだが、国、都、特別区といった大きな枠組みの中で杉並区の責務があると同時に、区内には現実にホームレスがいてそれをどうするのかということまで触れなければならない。協定があるから作るというだけでなく、ホームレスの問題をどのように捉えていくかという基盤があって、区の責務の話がでてくる。 福祉事務所の話を聞き、渋谷寮の見学を通して、身近にいるホームレスのことをどうするかということ意識しながら義務を果たしていくという報告書になったと思う。
委員	確かに都区共同事業だが、杉並区としてこの問題に主体的に取り組んでいくんだという姿勢を確認したい。こういうことをきっかけにより良い地域社会を作っていくという一つの試みになると思う。
	本日の検討内容を踏まえて報告書素案(案)を修正し、公表することで委員の了承を得た。
2. 今後のスケジュールについて	

事務局	<p>本日の検討を踏まえて報告書を修正し、8月11日号に要旨を掲載するとともに、ホームページ等に掲載、閲覧して、8月25日までに区民の意見をいただく。</p> <p>9月上旬に、区民意見を参考に報告書をまとめ、区はこの報告書（提言）に基づいて整備方針を決定する。</p>
	閉会
備考	<p>報告書素案は、杉並区役所公式ホームページの次の場所にあります。</p> <p>トップページの「区政資料」「報告書・アンケート結果」「保健福祉」を順にクリックしてください。</p>